

社会医療法人
製鉄記念室蘭病院



はあと

患者さん、地域、病院、みんながつながる情報誌



〈春うらら〉提供：阿部 なおき様

新年度、84名の 新たな職員を迎えて

病院長 前田 征洋

新入職員紹介

地域医療を支える新任医師たち
看護師など各部署の新入職員

ちょっと気になる病の話

① 卵巣がん

産婦人科長 山崎 智子

② CTを使った画像下治療

放射線科長 湯浅 憲章

Topics

泌尿器科が医師1名増員で、
診療体制充実

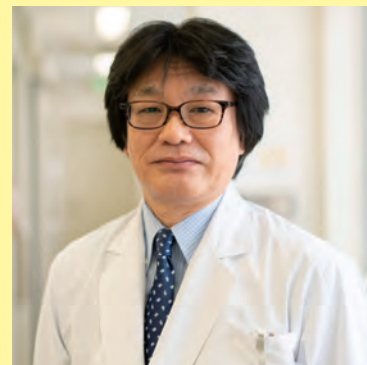
はあとNEWS

「失神外来」開設

女性のための乳腺ドック

新年度、84名の新たな職員を迎えて 地域医療の安定的な継続を めざして、診療体制を強化

病院長 前田 征洋



4月から、新たに計84名の職員（新入初期臨床研修医10名・転入医師など医師計34名、看護師・薬剤師・検査技師など計50名）が加わりました。

当院は、本年度も引き続き、質の高い「真の急性期病院」をめざすとともに、将来的にも安定的な地域医療の実現に向けて、着実に診療体制を強化していきます。

● 安定的な地域医療の継続に、医師確保は最重要

地域医療構想における効率的な医療提供体制の構築、さらには、2024年4月から施行される「医師の働き方改革」など、地域の医療を取り巻く状況が大きく変化しつつあるなかで、今後も室蘭および西胆振の地域医療を安定的に継続していくためには、医師確保がきわめて重要であると考えています。とりわけ、地方の病院においては、医師不足のために、地域に必要な医療を提供できなくなる可能性もあります。当院は、この地域の医療を今後も安定的に継続・発展させるため、医師確保を最重点課題の一つとして、積極的かつ実際的に取り組んでいます。

1. 麻酔科など四診療科で常勤医を増員、診療体制を強化

4月に、麻酔科、泌尿器科、心臓血管外科、消化器内科の四診療科で、それぞれ常勤医各1名の増員がありました。**麻酔科は、札幌医大教室からの派遣医が常勤4名・非常勤1名の計5名となり、より安定的な手術体制が確立しました。**また、**泌尿器科も常勤医4名体制となりましたので、外来診察室を改修のうえ、4月より2診体制としました。****心臓血管外科も計5名となり、西胆振唯一の心臓・血管系手術の対応施設として、より強固な体制となりました。****消化器内科も計8名体制に戻り、胃腸内科と胆膵内科それぞれの専門性をさらに特化させるとともに、腫瘍内科的診療体制（化学療法）をより強化しました。**さらに消化器内科では、7月からもう1名の常勤医増員も予定されています。

2. 大学教室からの常勤医派遣が、直近3年間で計12名増

直近3年間で、大学教室から派遣の常勤医が計12名増員されました。減員となる地方病院も多いなかでの大幅増員は全道的にもまれです。当院の病床数は347床と中規模ですが、**常勤医師は大規模病院に匹敵する人員**（今年度は計91名）が勤務し、高度で密度の高い診療を行うとともに、将来的にも地域に安定的な医療が提供できるよう、着実に医師を確保しながら、引き続き、診療体制を充実させていきます。

大学教室からの常勤医増員（直近3年間）

2020年度 (+5)		2021年度 (+3)		2022年度 (+4)	
麻酔科	+2	呼吸器外科	+1	麻酔科	+1
泌尿器科	+1	産婦人科	+1	泌尿器科	+1
整形外科	+1	循環器内科	+1	心臓血管外科	+1
呼吸器内科	+1	血液腫瘍内科	+1	消化器内科	+1
		消化器内科	-1		

3. 初期研修修了の8名が、専攻医として当院に継続勤務

この3月に当院での2年間の初期臨床研修を修了した基幹型11名、および1年間の研修を修了した大学協力型2名の計13名の初期臨床研修医のうち、**12名が道内三医大（札幌医大・北大・旭川医大）の各教室に所属しました。**そのうえで、このうちの**8名が、4月から引き続き、専攻医として当院で勤務**しながら、専門医をめざしています。当院初期臨床研修医が、研修修了後も専攻医として当院に継続勤務する人数は、直近3年で3名、5名、8名と年々増加しています。研修修了後の勤務先は、本人の希望に加え、所属大学教室の意向・指示が重要であり、当院の専攻医に対する教育指導が大学教室から信頼・評価されてきた表れと考えています。引き続き、専攻医および大学教室の期待に応えられるよう、指導体制を充実させていきます。



初期臨床研修医（2021年度研修修了式で）



2年次初期臨床研修医・修了証授与式

4. 医大と連携した「医学生からの一貫した医師育成」

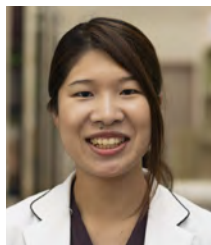
当院は、数年前から、**医学生教育における大学との連携・協力体制**を大幅に強化してきました。以前は、受け入れ診療科も数科に限定されていましたが、大学教室と緊密に連携し、計10を超える診療科に拡充、**診療参加型実習（3～4週間）が三大学併せて年間約30名、数日間の短期的な実習も含めると年間100名以上の医学生が当院での臨床実習を行っています。**コロナ禍でも、実習医学生に対し定期PCR検査を実施するなど、安全な受け入れにも配慮しています。こうした実習は、医学生のうちから地域医療の実状や当院の臨床研修病院としての魅力を十分に知ってもらう良い機会でもあり、病院全体（多職種）で質の高い教育ができるよう、**指導者層の充実など環境整備を進めています。**当院は、地域の中核病院としての特性を活かし、**医学生からの一貫したシームレスな教育を通して医師を育成する**医大と積極的に連携していきます。当院は、旧来の大学への一方的な「陳情型の医師確保」ではなく、大学教室と緊密に連携しながら、若手医師育成に積極的に関与し、「**病院の価値を高めることでの医師確保**」をめざしていきます。



医学実習生への教育・指導（泌尿器科）



研修医への教育（外科・縫合トレーニング）



医員

さくらい あやみ
櫻井 彩水



医員

ばば しゅうへい
馬場 周平

地域の医療を支える 新任医師34名を紹介

地域の皆さま、どうぞよろしくお願いします。

No Photo

医長

かわみなみ ゆうき
川南 有貴

循環器内科

No Photo

医員

おおぐろ あつや
大黒 敦矢



医員

たかの けいいちろう
高野 慧一郎



医長

こばし けんた
小橋 建太

呼吸器内科



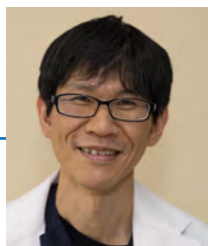
医員

あら なおみ
荒 奈緒美



医長

いとう たくろう
伊藤 拓郎



科長

とみい ゆうじ
富井 祐治

小児科

呼吸器外科

泌尿器科



医員

なりた しょう
成田 翔



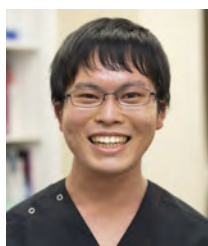
医長

ささき あきひろ
佐々木 明洋

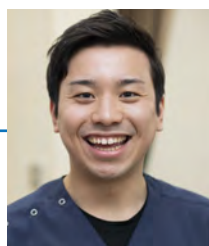


医員

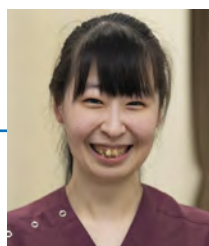
にしお ゆうき
西尾 優希



おおたき ゆうすけ
大瀧 佑介



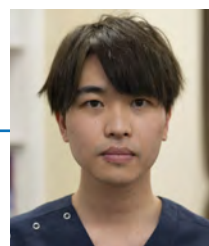
おおはし りょうすけ
大橋 了輔



かきざき ゆりか
蠣崎 夕利佳



くまがい たける
熊谷 越留



こばやし あきひろ
小林 朗大



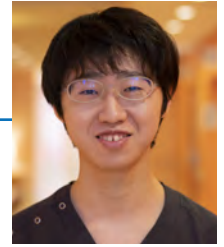
医長
うさみ まこと
宇佐美 信



医長
おおいわ しゅうたろう
大岩 修太郎



医員
さいとう せいや
齊藤 聖也



医員
しばや りょう
渋谷 稜



消化器内科



医員
しらと しゅうたろう
白土 翔太郎



医員
あかさか しゅんすけ
赤坂 俊輔

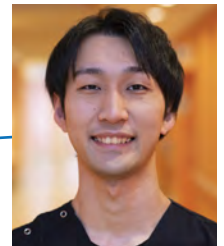


医員
うえき ともね
植木 知音

血液腫瘍内科

外科・消化器外科

心臓血管外科



医員
みずしま だいち
水島 大地

産婦人科



医員
おがわ しおり
小川 栞

麻酔科



医員
きじま さゆみ
木嶋 紗弓

No Photo

医長
ただころ ひろひこ
田所 宏彦

No Photo

医員
あさい まさたか
浅井 政貴

初期臨床研修医 (基幹型1年次)



こばやし かおり
小林 香織



こばやし だいき
小林 大暉



こばやし まなか
小林 万奈花



ちょう ちか
張 知佳



よこた えり
横田 英里

各 部 署

新入職員のご紹介

今年度は看護師が38名（助産師2名）、薬剤師、
各種技師、事務など、計50人の職員が入職しました。



2病棟



3病棟



4病棟



5病棟



6病棟



7病棟



ICU・救急室



手術室・中央材料室



看護部 放射線科



薬剤部



病理・臨床検査室



臨床工学科



リハビリテーション科



訪問リハビリテーションセンター



医療福祉相談室



事務部 医事課



**健康や生命に関わる医療の
スペシャリストを目指します！**

早期発見が難しい病のひとつ

卵巣がん



産婦人科長

やまざき

さとこ

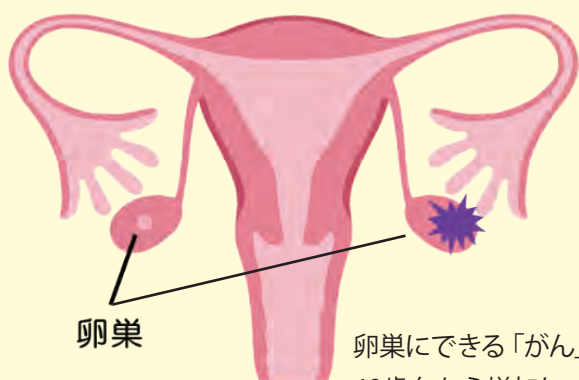
山崎 智子 医師

■産婦人科学会専門医
■産婦人科学遺伝診療学会認定医(周産期)
■日本母体救命システム普及協議会
J-MELSベーシックインストラクター

はっきりした原因がわからない病

卵巣がんは**40歳台から増加し、50歳台でピーク**に達します。日本では1年間に卵巣がんの診断を受ける人は約9,000人で、年々増加しています。卵巣がんのはっきりした原因はわかりませんが、卵巣がんのリスクには、生活習慣や肥満、子宮内膜症などの病気との関連が考えられています。また、日本人の卵巣がんのうち、約5~10%が家族性といわれており、家族性卵巣がんのうち75%を占めるのが遺伝的な要因が強く関連している遺伝性卵巣がんです。

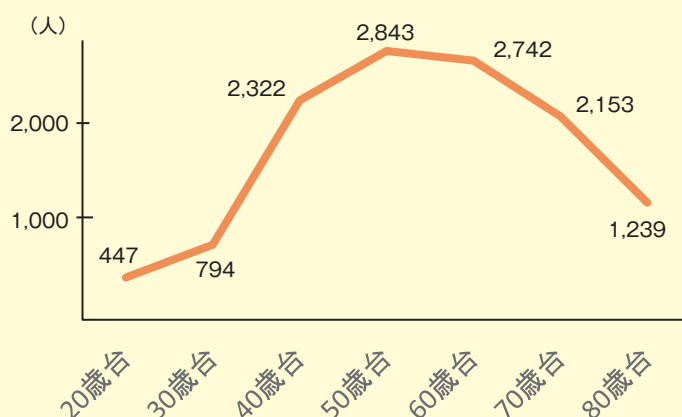
卵巣がん



卵巣

卵巣にできる「がん」
40歳台から増加し、
50歳台でピークとなる

年齢別の国内罹患数(2018年)



参考データ:国立がん研究センター2018年

どんな症状があるの?

子宮頸がんや子宮体がんとは違い不正出血などの**自覚症状があらわれにくいのが特徴**です。また、卵巣は腹腔内にあるため『がん検診』を行うことができず、早期発見が難しいといわれています。自覚症状が出て受診されたときには、お腹の中にがん細胞が広がった状態になっていることもしばしば経験します。卵巣がんを疑う症状としては、下腹部の違和感や圧迫感、腹部膨満などがあります。

卵巣が腫れていることを調べるためには、経膈超音波検査が簡便で有用ですので、**子宮がん検診を受ける際には一緒に超音波検査を受けることをお勧めします。**

よくある症状

- お腹が張る、痛い
- 下腹部にしこりが触れる
- 急にお腹が出てきた
- 食欲不振 など

診断には

卵巣の組織を手術で採取して、**顕微鏡で見る病理検査が必要**です。そのため、手術前に診断を確定することは困難ですが、お腹の中に多量の水(腹水)が溜まっている場合は、腹水を採取して診断をつけ治療方針を決定する場合があります。



治療は、手術が基本となります

病期にもよりますが、子宮全摘出、両側付属器（卵巣＋卵管）摘出術、大網切除術を行い、これに加え骨盤・傍大動脈リンパ節郭清術を行う場合があります。

卵巣がんでは進行した状態で見つかることが多いため、手術後に抗がん剤治療が追加となることがほとんどです。再発リスクの高い進行卵巣がんに対しては、分子標的薬を併用する場合があります。近年、卵巣がんへの適応が認められた分子標的薬が発売され、治療の選択肢が広がっています。

がん病期（ステージ）と治療

手術による腫瘍摘出

I 期



がんが卵巣だけにとどまっている状態

II 期



がんが骨盤内にあって、子宮や卵管、直腸・膀胱の腹膜などに広がっている状態

拡大手術および化学療法

III 期



がんがリンパ節に転移しているか、骨盤腔をこえて、上腹部の腹膜、大腸、小腸などに転移している状態

IV 期



がんが肝臓や肺などに転移している状態

出典：日本婦人科腫瘍学会

しっかり話し合い、治療を

お腹の膨満感を「太っただけかも・・・」と様子見せずに、産婦人科を受診することをお勧めします。卵巣がんは早期発見が難しい病気のひとつです。治療も手術と抗がん剤治療となりますので、治療期間が長くなることもしばしばあります。主治医と治療についてしっかり話し合い、わからないことは質問して理解された上で治療を進めて行くことが大切です。

今年度の診療体制は、すべて女性医師による診療となります。女性特有の症状でお悩みの方は、より相談しやすい婦人科を心がけております。何か気になる症状がある場合は、お気軽に受診し、ご相談ください。

外来診療予定表 婦人科

	月	火	水	木	金
午前	長尾 出張医	小川 木嶋	山崎 木嶋	小川 木嶋	小川 長尾
午後 予約のみ	山崎 出張医	小川 木嶋	長尾 小川	小川 木嶋	小川 木嶋

【受付時間】 8:30～11:00
火曜日・金曜日は10:30まで
【診療時間】 9:00～
【検診時間】 9:00～
がん検診は予約制
【お問合せ】 病院代表 ☎0143-44-4650
(15:00～16:30)

ご自身を大切にするためにも定期検診を

新型コロナウイルス感染症が流行してから検診の受診率が減り、自治体などで検診を促進する様々な活動が見受けられます。当院での**子宮がん検診**をご案内します。

対象年齢	20歳以上（偶数月生まれの女性）
内 容	子宮頸部の細胞診（2年に1度）
料 金	1,700円



追加で**経膈超音波の検査も対応**しています。
ご希望の方は当日、外来
受付に申し出ください。
(別途料金)



IVR専門医による CTを活用した画像下治療

最新式CTを治療支援に有効活用

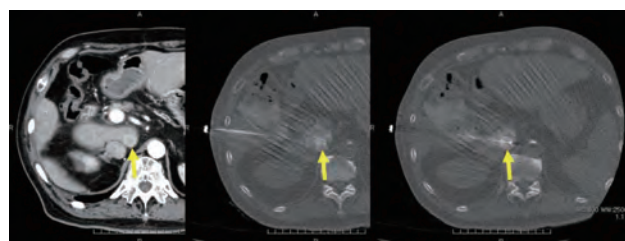
2012年以降64列CTが2台稼働していましたが、医師数や救急症例の増加、西胆振地域の循環器疾患の当院への集中などにより、検査件数が増加し続けていたため、**2021年2月に320列CT**、さらに今年3月には80列CTへ更新しました。

最新式の2台のCTは従来のCTと比べ、短時間で全身撮影、より鮮明な画像の撮影、AIによる被曝や金属アーチファクトの低減などのメリットがあり、特に循環器疾患（冠動脈、大動脈、下肢動脈などの3D画像）、その他にも腫瘍や多発外傷症例の全身スクリーニングに活用しています。さらに、当院ではこれらの**CTを治療支援にも最大限活用**しています。

CTを使った画像下治療

超音波やX線透視など画像を確認しながら針やカテーテルを体内へ進めて行う検査や治療は**IVR（画像下治療）**と呼ばれます。局所麻酔での施行が可能なため、体への負担が少ないメリットがあります。当院は**西胆振地域で唯一のIVR専門医と認定IVR看護師が常勤**しており、積極的にIVRを行っています。

腫瘍生検、肝臓がんへのラジオ波焼灼術（RFA）、膿瘍ドレナージ（排膿）などは、通常は超音波で確認しながら行いますが、体内の深部など、超音波での確認が困難な場合はCTを活用することで、**周囲臓器などとの位置関係が客観的に評価可能**となり安全に施行できます。



肝尾状葉最深部の肝細胞癌。超音波で描出不可能。肝動脈塞栓療法先行後にCTガイド下RFA施行。途中の消化管を誤穿刺しないように希釈造影剤注入し消化管を移動。

手 技	内 容	特 徴
腫瘍生検	治療方針決定などのため良・悪性や組織型を病理診断する目的で細い針を刺して腫瘍の一部を採取	経皮的生検は局所麻酔下で短時間で施行が可能のため体への負担が少ない
ラジオ波焼灼術（RFA）	小径肝細胞がんに関し細い針を刺して、100度程度の熱を10分前後加えて腫瘍を焼いて治療	2cm以下の腫瘍では、外科手術と治療成績が同等との報告有り
膿瘍ドレナージ	体内に細菌感染した液体（膿）が貯留し、発熱や痛みをきたした場合に、細いチューブを挿入し膿を排出させる治療	抗菌剤のみと比べて早期改善が期待できる

合併症への対応にも万全の体制

IVR実施の際は、安全に十分留意しながら施行しておりますが、IVR専門医が施行しておりますので、万一の合併症に対しても迅速に対応可能です。今後も画像診断およびIVR（画像下治療）などで患者さんのお役に立てれば幸いです。

当院は『産科危機的出血に対する動脈塞栓術を施行可能な病院』です

分娩後の胎盤遺残や産道裂傷などによる大量出血に対し、一次止血に効果がないときは、カテーテルを用いて出血原因の動脈に塞栓物質を注入する子宮動脈塞栓術が必要な場合があります。当院では産婦人科、麻酔科、放射線科（IVR）の専門医が常勤し、原則24時間対応が可能であり、**日本IVR学会のリストに掲載されています（右QRコード）**。道内にも3病院しかなく胆振地域では当院のみです。



泌尿器科が医師1名増員で 診療体制充実!



泌尿器科部長
ふくた 史昌 医師
福多 史昌 医師

- ・泌尿器科学会専門医・指導医
- ・排尿機能学会専門医
- ・泌尿器ロボット支援手術プロクター

泌尿器科外来は、患者数増加・常勤医師の増員に伴い2022年2月から改修工事を行い、4月から診察室を2つに増設し2診体制にしました。検査用のトイレも改修し、空間を広く確保したことで車椅子での利用もより快適になりました。



常勤医4名に(1名増員)



外来診察室を2診へ

地域最多の医師数

2022年4月から泌尿器科では、常勤医が1名増員となり、**地域最多の4名**となりました。診察室の増設で、新規患者さんの待ち時間の短縮に貢献できればと思っております。

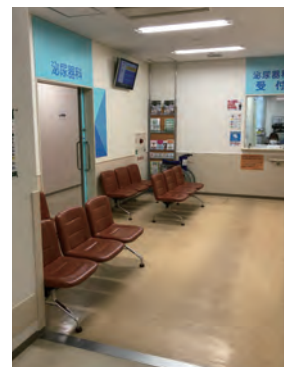
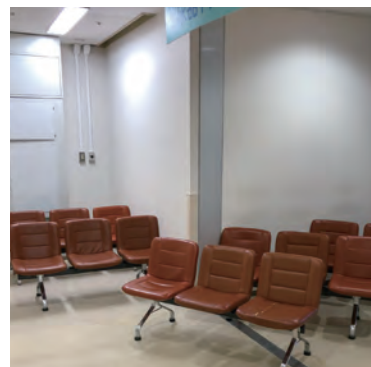
医師の増員によって、通常診療を止めずに緊急時の対応が可能となったため即応能力の拡大にも努めていきます。

常勤医すべてがロボット手術に関わる資格取得

今後も患者さん1人1人にあった診療を心がけ、地域の医療機関からの紹介やご自宅近くの医療機関への紹介など、時間をかけて行っております。待ち時間が長くなってしまうことも、しばしばありますが工夫して診療を心がけていきます。

当院ではロボット支援手術(傷口が小さく身体への負担が少ない手術)を行うことができ、**常勤医1名が泌尿器領域でのロボット支援手術プロクター(指導医)**を取得しており、**他3名全てロボット支援手術助手の資格を取得**しております。そのため質の高い手術にも対応可能です。

何かお困りの症状などありましたら、ご相談ください。



外来待合室の拡充

外来診療予定表 泌尿器科

	月	火	水	木	金
午前	立木	福多	小笠原	立木	福多
	交代制	交代制	交代制		交代制
午後 予約のみ	—	小笠原	福多	立木	小笠原 (第2・4週)

【受付時間】 8:30~11:00

【診療時間】 9:00~

【腎臓移植外来】(予約制)

第2・4金曜 14:00~

【お問合せ】 病院代表 ☎0143-44-4650
(15:00~16:30)

A cartoon illustration of a woman with dark hair, wearing a pink long-sleeved shirt. She has a distressed expression, with her eyes closed and a wavy line above her head indicating pain. She is holding her right hand to her forehead. There are also some small blue and black wavy lines around her head, possibly representing sweat or the intensity of the pain.

毎月第2水曜日 14時から(予約制)

	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



介護老人保健施設 憩	TEL.0143-41-1511
室蘭市地域包括支援センター 憩	TEL.0143-41-3076
居宅介護相談センター 憩	TEL.0143-41-3078
訪問リハビリテーションセンター	TEL.0143-41-3075
サテライトクリニック知利別	〒050-0076 室蘭市知利別町1丁目8番1号
(泌尿器科・人工透析内科)	TEL.0143-47-3500